平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年7月28日

上場会社名　東芝プラントシステム株式会社　　上場取引所　東
コード番号　1983　URL http://www.toshiba-tpsc.co.jp
代表者　(役職名) 取締役社長　(氏名) 松川　良
問合せ先責任者 (役職名) 業務部長　(氏名) 田邊　賢吾　TEL 045-500-7012

四半期報告書提出予定日　平成28年8月4日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	38,640	20.6	3,220	35.4	3,577	47.6	2,390	55.0
28年3月期第1四半期	32,048	5.0	2,378	44.4	2,423	31.8	1,541	46.4

(注)包括利益　29年3月期第1四半期　2,349百万円　(30.8%)　28年3月期第1四半期　1,795百万円　(56.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	24.53	―
28年3月期第1四半期	15.82	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	226,281	122,413	54.0
28年3月期	238,254	121,281	50.8

(参考)自己資本　29年3月期第1四半期　122,132百万円　28年3月期　120,978百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	―	25.00	―	12.50	37.50
29年3月期	―				
29年3月期(予想)		19.00	―	19.00	38.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

(注) 平成28年3月期第2四半期末配当金の内訳　普通配当12円50銭　特別配当12円50銭

3. 平成29年 3月期の連結業績予想(平成28年 4月 1日～平成29年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	95,000	8.2	7,200	10.5	7,500	15.8	5,000	25.3	51.32
通期	230,000	4.9	18,700	0.3	19,000	1.5	12,500	11.2	128.31

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期1Q	97,656,888 株	28年3月期	97,656,888 株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	243,316 株	28年3月期	243,256 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期1Q	97,413,612 株	28年3月期1Q	97,414,433 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

【添付資料】

目　　次

１．当四半期決算に関する定性的情報
(1) 経営成績に関する説明 … ２ページ
(2) 財政状態に関する説明 … ２ページ
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 … ２ページ

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 … ３ページ
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 … ３ページ
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 … ３ページ
(4) 追加情報 … ３ページ

３．四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表 … ４ページ
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 … ５ページ
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 … ６ページ
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項
（継続企業の前提に関する注記） … ７ページ
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） … ７ページ
（セグメント情報等） … ７ページ
（その他の注記事項） … ８ページ

1．当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第１四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新興国経済の減速、円高の継続、企業収益改善の足踏み、英国の欧州連合離脱問題等により、緩やかな回復基調を続けてきた景気は、先行きに不透明感が広がる状況にありました。

このような状況のもと、当社グループは、「利益ある持続的成長を続けるエクセレントカンパニーの実現」に向け、2016 年度中期経営計画において「①高収益と成長を着実に実現するビジネスモデルの構築」、「②ＢＣＭ（※）経営によるイノベーションの推進」、「③ＣＳＲ経営の推進」を基本戦略として諸施策を積極的に推進しました。

この結果、受注高は 352 億 7 千 7 百万円、売上高は 386 億 4 千万円となりました。また、利益面につきましては、営業利益は 32 億 2 千万円、経常利益は 35 億 7 千 7 百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は 23 億 9 千万円となりました。

※ＢＣＭ(Balanced CTQ Management)とは、企業の経営ビジョンを実現するための、財務やその他経営状況、経営品質を含めバランスのとれた経営を行うための方法論です。

セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

＜発電システム部門＞

受注高及び売上高ともに、国内外の火力発電設備等が増加しました。

＜社会・産業システム部門＞

受注高は、太陽光発電設備及び公共関係等が減少しました。売上高は、国内の一般産業向け及び公共関係等が増加しました。

セグメント別の受注高及び売上高等

セグメントの名称	受注高 (百万円)	前年 同期比	売上高 (百万円)	前年 同期比	経常利益 (百万円)	前年 同期比
発電システム部門	20,750	11.8%	21,281	25.9%	2,092	119.6%
社会・産業システム部門	14,526	△20.7%	17,358	14.6%	1,484	1.0%
合計	35,277	△4.4%	38,640	20.6%	3,577	47.6%

(2) 財政状態に関する説明

当第１四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末から119億7千2百万円減少し、2,262億8千1百万円となりました。これは主に、現金預金及び株式会社東芝へのグループ預け金の増加165億6千4百万円、未成工事支出金の増加76億7千9百万円があるものの、受取手形・完成工事未収入金等の減少354億9千7百万円によるものであります。

一方、当第１四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末から131億4百万円減少し、1,038億6千7百万円となりました。これは主に、支払手形・工事未払金等の減少102億5百万円、未払法人税等の減少36億7千2百万円によるものであります。

また、当第１四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末から11億3千1百万円増加し、1,224億1千3百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成 28 年 5 月 12 日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第 26 号 平成 28 年 3 月 28 日）を当第１四半期連結会計期間から適用しております。

３．四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成28年３月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成28年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金預金	6,430	6,770
グループ預け金	85,534	101,759
受取手形・完成工事未収入金等	92,565	57,068
電子記録債権	508	225
未成工事支出金	25,248	32,927
その他	9,166	8,764
貸倒引当金	△312	△295
流動資産合計	219,141	207,221
固定資産		
有形固定資産	6,692	6,853
無形固定資産	252	222
投資その他の資産		
その他	12,292	12,107
貸倒引当金	△123	△123
投資その他の資産合計	12,168	11,983
固定資産合計	19,112	19,060
資産合計	238,254	226,281
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	47,635	37,429
未払法人税等	5,888	2,216
未成工事受入金	13,349	13,657
役員賞与引当金	93	118
完成工事補償引当金	1,048	959
工事損失引当金	204	－
その他	13,234	14,384
流動負債合計	81,455	68,767
固定負債		
役員退職慰労引当金	27	29
退職給付に係る負債	35,197	34,770
その他	292	299
固定負債合計	35,517	35,100
負債合計	116,972	103,867
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,876	11,876
資本剰余金	20,910	20,910
利益剰余金	94,726	95,899
自己株式	△164	△164
株主資本合計	127,348	128,521
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	△290	△193
為替換算調整勘定	△11	△487
退職給付に係る調整累計額	△6,068	△5,707
その他の包括利益累計額合計	△6,369	△6,389
非支配株主持分	303	281
純資産合計	121,281	122,413
負債純資産合計	238,254	226,281

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第１四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第１四半期連結累計期間 (自　平成27年４月１日 至　平成27年６月30日)	当第１四半期連結累計期間 (自　平成28年４月１日 至　平成28年６月30日)
売上高	32,048	38,640
売上原価	26,926	32,540
売上総利益	5,122	6,099
販売費及び一般管理費	2,743	2,878
営業利益	2,378	3,220
営業外収益		
受取利息	48	292
受取配当金	25	28
持分法による投資利益	1	8
その他	23	41
営業外収益合計	99	370
営業外費用		
固定資産処分損	4	10
為替差損	47	－
その他	2	3
営業外費用合計	54	14
経常利益	2,423	3,577
税金等調整前四半期純利益	2,423	3,577
法人税、住民税及び事業税	1,489	1,689
法人税等調整額	△605	△506
法人税等合計	883	1,183
四半期純利益	1,539	2,393
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失（△）	△1	3
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,541	2,390

（四半期連結包括利益計算書）

（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成27年４月１日 至　平成27年６月30日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成28年４月１日 至　平成28年６月30日）
四半期純利益	1,539	2,393
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	129	－
繰延ヘッジ損益	27	96
為替換算調整勘定	△83	△501
退職給付に係る調整額	183	360
その他の包括利益合計	255	△44
四半期包括利益	1,795	2,349
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,805	2,371
非支配株主に係る四半期包括利益	△9	△21

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

Ⅰ 前第１四半期連結累計期間（自平成27年４月１日 至平成27年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	発電システム部門	社会・産業システム部門	合計
売上高			
外部顧客への売上高	16,900	15,148	32,048
セグメント間の内部売上高又は振替高	142	67	210
計	17,043	15,216	32,259
セグメント利益	952	1,470	2,423

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	2,423
四半期連結損益計算書の経常利益	2,423

Ⅱ 当第１四半期連結累計期間（自平成28年４月１日 至平成28年６月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	発電システム部門	社会・産業システム部門	合計
売上高			
外部顧客への売上高	21,281	17,358	38,640
セグメント間の内部売上高又は振替高	125	50	176
計	21,407	17,409	38,817
セグメント利益	2,092	1,484	3,577

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	3,577
四半期連結損益計算書の経常利益	3,577

（その他の注記事項）

（四半期連結貸借対照表関係）

損害賠償に係る偶発債務

当社が請負った工場新築電気設備工事において、顧客設備の一部に損害を与える事象が発生しました。

その結果、顧客より損害賠償請求がなされる可能性がありますが、現時点では損害賠償金額を合理的に見積ることが困難であるため工事損失引当金の計上は行っておりません。